

核兵器と核テロのない世界を目指して

核兵器・核テロのない世界 × サステナブルな原子力の平和利用のため国策の実施、国際機関の取組を支援するとともに、核不拡散・核セキュリティを取り巻く課題、最近の環境変化に対応していきます。

先進炉SMR

核鑑識

核実験監視

サイバーセキュリティ

連携・協力体制

- ・国際原子力機関（IAEA）
- ・包括的核実験禁止条約機関（CTBTO）
- ・米国
- ・欧州委員会

アジア地域

国内

支援

核不拡散・核セキュリティ総合支援センター
(ISCN)

連携・協力

政策立案などの検討に貢献



■ 核不拡散・核セキュリティを取り巻く国際動向などを踏まえ、技術的知見に基づく**政策的研究**を実施しています。

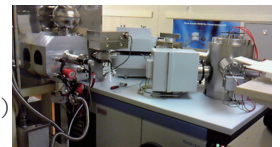
■ ISCN ニュースレター・核不拡散動向などにより、最新情報を**収集・分析・発信**しています。

核セキュリティ対策への貢献

核テロなどで使用された核・放射線物質を特定するための核鑑識技術開発を実施しています。

高精度な分析技術

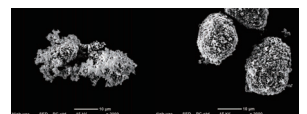
ウラン濃縮度や不純物分析で起源を特定
社会実装に向けて（新技術、低コスト化）



AIにより粒子形状分析を自動化

安価な初動対応支援技術

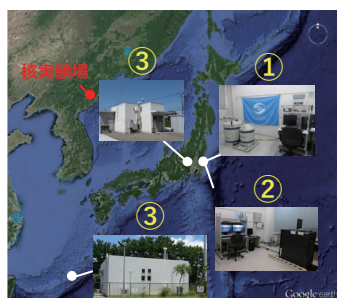
小型検出器と AI で低コスト化



核実験禁止の枠組みへの貢献

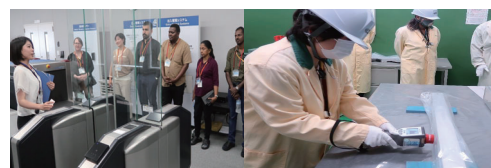
核実験を監視する CTBT 国際監視制度の放射性核種監視施設と国内データセンターを運用しています。

- ① 東海公認実験施設：
放射性粒子の詳細分析
- ② 国内データセンター：
全世界の放射性核種監視観測所のデータを受信して解析・評価
- ③ 放射性核種監視観測所：
放射性粒子と放射性希ガスを観測



人材育成への貢献

核不拡散・核セキュリティ強化のためのトレーニングを開発・提供、国内及びアジアなど新興国における人材育成を支援します。



サイバーセキュリティなど新たな脅威に対するトレーニングを開発